

令和4年1月25日 大学院入試IV期追加版

令和4年度

岐阜保健大学大学院

看護学研究科 看護学専攻（修士課程）

学生募集要項

岐阜保健大学大学院

看護学研究科

Gifu University of Health Sciences

Graduate School of Nursing

岐阜保健大学 大学院看護学研究科（修士課程）

建学の精神

命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤に看護職としての深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することを教育理念とする。

岐阜保健大学大学院看護学研究科 アドミッション・ポリシー

岐阜保健大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程では、教育目的を理解し、本研究科への入学を希望する次のような学生を求める。

- ① 看護実践力を高め社会貢献したいと考えている者
- ② 看護実践を研究につなげる志を持っている者
- ③ 看護実践の質を高めたいと志向している者

令和4年度大学院看護学研究科 入学者選抜試験スケジュール

各コースにおいて入学定員に達した場合、募集を終了し、予定している入学試験を実施しない場合があります。

I 期

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者	資格審査申請期間	令和3年9月10日（金）～9月17日（金）必着
	資格審査結果発表日	令和3年9月25日（土）
志願者全員	出願期間	令和3年10月4日（月）～10月12日（火）必着
	試験日	令和3年10月17日（日）
	合格発表日	令和3年10月21日（木）

II 期

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者	資格審査申請期間	令和3年12月10日（金）～12月17日（金）必着
	資格審査結果発表日	令和3年12月23日（木）
志願者全員	出願期間	令和4年1月5日（水）～1月11日（火）必着
	試験日	令和4年1月16日（日）
	合格発表日	令和4年1月20日（木）

Ⅲ期

対象者	事項	日程
資格審査を 必要とする者	資格審査申請期間	令和4年1月24日(月)～1月28日(金) 必着
	資格審査結果発表日	令和4年2月2日(水)
志願者全員	出願期間	令和4年2月8日(火)～2月15日(火) 必着
	試験日	令和4年2月20日(日)
	合格発表日	令和4年2月24日(木)

(追加日程) Ⅳ期

対象者	事項	日程
資格審査を 必要とする者	資格審査申請期間	令和4年2月28日(月)～3月9日(水) 必着
	資格審査結果発表日	随時
志願者全員	出願期間	令和4年3月7日(月)～3月14日(月) 必着
	試験日	令和4年3月17日(木)
	合格発表日	令和4年3月19日(土)

1. 募集人員

看護学専攻 13名 (修業年限 2年)

(内訳) 看護学研究コース 4名
保健師コース 5名
助産師コース 4名

※ 在職者が修学するなど、標準修業年限2年での教育課程が困難な学生を対象とする「長期履修制度」については、11Pを参照してください。

募集するコース・分野・領域・学位取得モデル

コース	分野	領域	学位取得モデル
看護学 研究コース	広域看護学 分野	災害看護学領域	看護学研究コース
		老年看護学領域	
		精神看護学領域	
	実践看護学 分野	成人看護学領域	
		小児看護学領域	
保健師コース			看護学研究コース + 保健師コース
助産師コース			看護学研究コース + 助産師コース

2. 出願資格

選抜区分は、一般選抜と社会人特別選抜の2種類とする。

(1) 一般選抜の出願資格

保健師助産師看護師法に規定する「保健師」、「助産師」、「看護師」のいずれかの資格を取得（見込み者を含む）し、次の条件①～⑨のいずれかに該当する者。なお、助産師コースは、女性のみ出願を可能とする。

- ① 大学を卒業した者、及び入学までに卒業見込みの者
- ② 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び入学までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育の授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、及び入学までに修了見込みの者
- ⑤ わが国において外国の大学の課程（外国の学校における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において、位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、及び入学までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定

める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを、文部科学大臣が定める日以後に修了した者、及び入学までに修了見込みの者

- ⑦ 令和4年3月31日の段階で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得した者と認めた者
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、入学までに22歳に達する者(看護系、看護師の養成課程の短期大学(専攻科を含む)、専修学校、各種学校等の卒業者・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、看護師としての臨床経験3年以上を本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者)

(2) 社会人特別選抜の出願資格

社会人特別選抜に出願することができる者は、前記の一般選抜の①～⑨のいずれかに該当し、通算3年以上(令和4年3月31日までの見込みを含む)の実務経験を有する者(注:実務経験とは保健師、助産師、又は看護師にいずれかの免許を取得したうえ、看護職として携わった経験のことを言う)とする。なお、助産師コースは、女子のみ出願を可能とする。

(研究領域等についての事前相談)

出願を希望する者は、出願に先立ち、必ず志望する専攻分野の指導教員と面談し、入学後の研究・教育(履修内容等)について事前に相談することとします。事前相談の方法については、15P～18Pの別表「指導教員の専門領域と連絡先」を参照のうえお申し込みください。なお、面談は出願までに済ませてください。

(3) 個別の入学資格審査(出願資格⑨で出願しようとする者は審査を受けること)

① 資格審査申請期間

- (Ⅰ期) 令和3年9月10日(金)～9月17日(金) 必着
- (Ⅱ期) 令和3年12月10日(金)～12月17日(金) 必着
- (Ⅲ期) 令和4年1月24日(月)～1月28日(金) 必着
- (Ⅳ期) 令和4年2月28日(月)～3月9日(水) 必着

② 申請書類（書類の作成は、4 出願書類に準じること）

提出書類 1 及び 2 は、本学ホームページ「入試情報／入試概要／看護学研究科／出願書類」よりダウンロードし、A4 サイズで印刷してください。

1 入学資格審査認定申請書	本学の所定様式（様式 4）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。表面・裏面を別々の用紙に印刷し提出することも可能です。
2 志望理由書	本学の所定様式（様式 2-1）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。
3 成績証明書	看護師、保健師又は助産師の免許を取得するために、卒業したすべての養成所等の成績証明書
4 卒業証明書または修了証明書	看護師、保健師又は助産師の免許を取得するために、卒業したすべての養成所等の卒業証明書または修了証明書
5 免許証の写し	看護師、保健師、助産師免許の写し

③ 資格審査に必要な提出書類の郵送方法

本学ホームページより「封筒貼り付け用宛名シート」をダウンロード・印刷し、市販の角 2 封筒に貼付してください。出願書類を封入し、申請期間内（締切日必着）簡易書留速達で郵送してください。

④ 審査結果

- （Ⅰ期）令和 3 年 9 月 25 日（土）郵送にて通知
- （Ⅱ期）令和 3 年 12 月 23 日（木）郵送にて通知
- （Ⅲ期）令和 4 年 2 月 2 日（水）郵送にて通知
- （Ⅳ期）随時 郵送にて通知

3. 出願手続

(1) 出願期間

- （Ⅰ期）令和 3 年 10 月 4 日（月）～10 月 12 日（火）必着
- （Ⅱ期）令和 4 年 1 月 5 日（水）～1 月 11 日（火）必着
- （Ⅲ期）令和 4 年 2 月 8 日（火）～2 月 15 日（火）必着
- （Ⅳ期）令和 4 年 3 月 7 日（月）～3 月 14 日（月）必着

(2) 出願方法及び出願先

- ① 志願者各自で用意した封筒の表に「看護学研究科出願書類在中」と朱書きし、4. で定められた「出願書類」を下記の提出先に簡易書留速達で郵送してください。
- ② 出願期間内に到着しなかった場合は受理しません（出願期間内消印有効ではないので注意してください）。
- ③ 外国の高等教育機関で発行された卒業証明書等で、再発行ができない者については、コピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、

入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。

<出願書類、入学資格審査申請書類の提出先、入試に関するお問い合わせ先>

〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2-92 岐阜保健大学 入試・広報部

TEL 058-274-5001 FAX 058-274-5260

E-mail koho@toyota.ac.jp URL <http://www.gifuhoken.ac.jp>

4. 出願書類（一般選抜、社会人選抜共通）

<p>1 入学願書・ 自己経歴書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の所定様式（様式 1-1）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。表面・裏面を別々の用紙に印刷し提出することも可能ですが、その際は左上をホッチキスでとめて下さい。 ・ 写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦 4 cm×横 3 cm、出願 3 カ月以内に撮影したものを貼付してください。
<p>2 志望理由書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の所定様式（様式 2-1）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に志望理由書を提出した者は、再提出の必要はありません。
<p>3 成績証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・ 出願資格③～⑧により出願する者は、修了した高等教育機関（大学相当）の卒業証明書を提出してください。 ・ コピーの提出は認めません。 ・ ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に成績証明書等を提出した者は、再提出の必要はありません。
<p>4 卒業証明書 (卒業見込証明書)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・ 出願資格②により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。 ・ 出願資格③～⑧により出願する者は、修了した高等教育機関（大学相当）の卒業証明書を提出してください。 ・ コピーの提出は認めません。 ・ ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に卒業証明書等を提出した者は、再提出の必要はありません。

次頁に続く

5 免許証の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健師、助産師、看護師の免許証の写しを提出してください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に免許証等を提出した者は、再提出の必要はありません。
6 入学資格認定通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願資格⑨により出願する者は提出してください。
7 入学検定料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関備え付けの振込用紙を使用し、入学検定料 35,000 円を下記口座に振り込んでください。ゆうちょ銀行から振り込む場合は、ゆうちょ銀行のお手持ちの口座からのみ可能です。 ・ 振込手数料は志願者本人の負担となります。 ・ 振込後に金融機関から受け取った「振込金受取書（証明書）等」を他の書類と一緒に提出してください。コピーの提出も可能です。 <p><振込先> 十六銀行 本店営業部 普通預金 口座番号 2 3 3 5 8 2 5 受取人 学校法人豊田学園 ガク) トヨタガクエン 住所 岐阜県岐阜市東鶉 2 - 9 2 電話番号 0 5 8 - 2 7 4 - 5 0 0 1</p>

注1) 志望するコースから1つを選択して出願してください。看護学研究コースを志望する者は、分野、領域から1つを選択して出願してください。

注2) 卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注3) 在職のまま就学を希望する者は、勤務先とのトラブルが生じないように十分配慮してください。出願時に就学承認書を必要としませんが、合格して入学手続きをする際には、書類の提出を求めます。

注4) 一旦納入された入学検定料は返還できません。

注5) 提出された出願書類は、理由のいかんに関わらず返却しません。

5. 身体に障がいをもつ入学志願者との事前相談

身体に障がいをもつ方で、受験時や入学後の学修に際して、特別の対応や配慮を希望する者は、出願前に必ず入試・広報部（TEL058-274-5001）に相談してください。

6. 入学試験日と選考方法

(1) 入学試験日

(Ⅰ期) 令和3年10月17日(日)

(Ⅱ期) 令和4年1月16日(日)

(Ⅲ期) 令和4年2月20日(日)

(Ⅳ期) 令和4年3月17日(木)

(2) 試験時間と選考方法

項目	選考方法	
	一般選抜	社会人選抜
受付開始	8:20	9:50
入室完了時間	8:40	10:10
試験時間 9:00~10:00 (60分)	小論文(英文読解含む) ※ 英和辞典1冊持ち込み可。 ただし、医学専門辞書並びに電子辞書機器類は持ち込み不可。 配点 50点満点	/
試験時間 10:30~11:30 (60分)	専門科目 ※ 志望領域を選択して解答する。 記述式 配点 100点満点	専門科目 ※ 志望領域を選択して解答する。 記述式 配点 100点満点
試験時間 12:30~ (20分)	口述試験 ※ これまでの研究の概要、今後の方向性を15分以内で口頭発表。その後、質疑応答を行う。 資料の配付等は可能。 配点 100点満点	口述試験 ※ これまでの研究の概要、今後の方向性を15分以内で口頭発表。その後、質疑応答を行う。 資料の配付等は可能。 配点 100点満点
合計	250点満点	200点満点

(3) 試験場

岐阜保健大学 岐阜県岐阜市東鶉2-92

7. 合格発表

(1) 合格発表日

(Ⅰ期) 令和3年10月21日(木)

(Ⅱ期) 令和4年1月20日(木)

(Ⅲ期) 令和4年2月24日(木)

(Ⅳ期) 令和4年3月19日(土)

(2) 合格発表の方法

合格発表日の午前 10 時に本学ホームページ「新着情報」にて、合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には入試結果通知書を郵送します。不合格者には郵送による通知は行いません。

(3) 社会人選抜合格者の入学前課題について

社会人選抜の合格者には、入学手続完了後に小論文（英文読解を含む）の課題を課します。

8. 入学手続

合格者には、入試結果通知の際に入学手続書類等を送付します。

(1) 入学手続期限

本学所定の振込依頼書を用い、各コースの定める「入学時納入金」を下記期限までに納付し、合格者に送付する入学手続案内により入学手続書類を入試・広報部に郵送してください。

(Ⅰ期) 令和 3 年 10 月 29 日 (金)

(Ⅱ期) 令和 4 年 1 月 28 日 (金)

(Ⅲ期) 令和 4 年 3 月 4 日 (金)

(Ⅳ期) 令和 4 年 3 月 25 日 (金)

(2) 入学時納入金

	看護学 研究コース	保健師コース	助産師コース
入学金	282,000 円	282,000 円	282,000 円
授業料 (1 年次前期分)	300,000 円	350,000 円	350,000 円
施設設備費 (1 年次前期分)	100,000 円	100,000 円	100,000 円
教育充実費 (1 年次前期分)	—	50,000 円	150,000 円
入学時納入金 合計	682,000 円	782,000 円	882,000 円

入学手続時に、上記のほか次の費用が必要となります。

その他諸費用 65,000 円

抗体検査料、総合補償制度保険料 (2 年分)、学生証発行代金、ICT 教材費、実習記録表等

※ 詳細は合格者に送付する「入学手続要項」にて確認をしてください。その他、教科書、実習服、パソコン等の費用が必要となります。

(3) 学生納付金（1年次、2年次）

① 看護学研究コース

費目	入学手続時	1年次10月	2年次4月	2年次10月
入学金	282,000円	—	—	—
授業料	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	—	—	—	—
納付金合計	682,000円	400,000円	400,000円	400,000円

② 保健師コース

費目	入学手続時	1年次10月	2年次4月	2年次10月
入学金	282,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
納付金合計	782,000円	500,000円	500,000円	500,000円

③ 助産師コース

費目	入学手続時	1年次10月	2年次4月	2年次10月
入学金	282,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
納付金合計	882,000円	600,000円	600,000円	600,000円

※入学辞退に関して

一旦納入された「入学時納入金」は原則として返還しません。ただし、大学院入試の入学手続完了者が令和4年3月31日（木）午後5時（必着）までに「入学辞退届」を本学に提出し、これが許可された場合には、納付された入学金を除く入学時納入金を返還します（入学辞退届は連絡確認着に郵送します。また、返金に関する振込手数料は本人負担とします）。指定した日時までに入学辞退手続きを完了しなかった場合は、入学時納入金は一切返還されません。

なお、新年度開講の都合上、入学辞退のお申し出は、可能な限り令和4年3月23日（水）までにご連絡をいただきますようお願いいたします。

9. 長期履修制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修学年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることとなります。また、長期履修を認められた学生が、長期履修期間の短縮を願い出ることもできます。

(1) 申請資格

有職者(正規雇用者に限らず、主としてその収入で生計を立てている者)、出産、育児、介護、その他 やむを得ない事情を有する者

(2) 申請期限

入学後のオリエンテーションで説明し、申請を受け付けます。

(3) 申請場所

岐阜保健大学 事務局学事課

(4) 長期履修期間及び在学可能期間

	標準修学年限	長期履修期間	在学可能期間
修士課程	2年	3年	4年 (標準修学年限×2)

注1) 在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

注2) 休学の期間は、上記期間に含まれません。

注3) 長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

(5) 申請書類

① 長期履修申請書(所定様式)

② 申請資格を証明する文書(職業を有する者については、在職証明書又は、それに代わるものなど。育児・介護等を行う者については、当該事由を証明する文書「診断書」など)

(6) 学生納付金

長期履修学生の学生納付金の年額については、標準修学年限に相当する年数を乗じた額を、長期在学期間の年数で除した額となります。

(3年間の長期履修期間を申請し許可された場合の学生納付金の例)

① 看護学研究コース (2年間通常の学生納付金合計：1,882,000円)

	初年度	2年目	3年目	
入学金	282,000円	—	—	
授業料	400,000円	400,000円	400,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	—	—	—	3年間合計
納付金合計	816,000円	533,000円	533,000円	1,882,000円

② 保健師コース (2年間通常の学生納付金合計：2,282,000円)

	初年度	2年目	3年目	
入学金	282,000円	—	—	
授業料	467,000円	467,000円	466,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	67,000円	67,000円	66,000円	3年間合計
納付金合計	950,000円	667,000円	665,000円	2,282,000円

③ 助産師コース (2年間通常の学生納付金合計：2,682,000円)

	初年度	2年目	3年目	
入学金	282,000円	—	—	
授業料	467,000円	467,000円	466,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	200,000円	200,000円	200,000円	3年間合計
納付金合計	1,083,000円	800,000円	799,000円	2,682,000円

(7) 期間短縮申請

長期履修を認められた学生が、長期履修期間の短縮を願い出ることもできます。

9. 受験に関する注意事項

(1) 受験票

- ① 受験票が試験実施日2日前までに到着しない場合は、入試・広報部（058-274-5001）まで問い合わせてください。
- ② 受験票が到着したら、受験番号の記載を確認してください。
- ③ 本学より受験者に、郵送による受験票の返送が間に合わない場合には
 - 1 出願を受理した旨を電話にて連絡します。
 - 2 受験票は試験当日、試験場の受付で渡します。

3 受験票は受験の当日に必ず持参し、合格発表・入学手続まで大切に保管してください。

(2) 試験場への入場

- ① 受験票を提示して入場してください。
- ② 受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。
- ③ 受験番号により指定された席につき、受験票を机上においてください。

(3) 受付及び入室完了時刻

- ① 試験日当日は8時00分に開場します。
- ② 一般選抜にて受験する者は、受付を8時20分から開始します。8時40分までに試験室に入室してください。
- ③ 社会人選抜にて受験する者は、受付を9時50分から開始します。10時10分までに試験室に入室してください。

(4) 交通手段について

- ① 自家用車で送迎の場合は、14Pの駐車場案内をご覧のうえ駐車してください。
- ② 路線バス(岐阜バス)で来学する場合は、岐阜バスのホームページ(岐阜バスNavi)で運行時刻を確認してください。

(5) 遅刻について

試験開始後20分以上遅刻した者は受験できません。ただし、天候不順による交通機関の遅延、交通機関の事故などでやむを得ず定刻までに試験場に到着できない場合は、入試・広報部(TEL058-274-5001)まで連絡をして指示を受けてください。その他の理由で遅れる場合も、入試・広報部まで連絡をして指示を受けてください。

(6) 持ち物等

- ① 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、HBまたはBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬です。なお、端末機能のある時計は使用できません。
- ② 学内は上履きが必要となります。上履きと靴を入れる袋を持参してください。
- ③ 昼食が必要な場合は各自用意してください。

(7) その他

- ① 試験室では、携帯電話などの電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切ったうえでカバンにしまってください。
- ② 不明な点、忘れ物などがあれば、係員に申し出てください。
- ③ 入学試験の当日に天候不順による警報等が発令された場合、本学ホームページにて、対応方法を告知します。
- ④ 感染防止のためマスクの着用及び入室時に手指消毒をしてください。

<出願書類、入学資格審査申請書類の提出先、入試に関するお問い合わせ先>

〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2-92 岐阜保健大学 入試・広報部

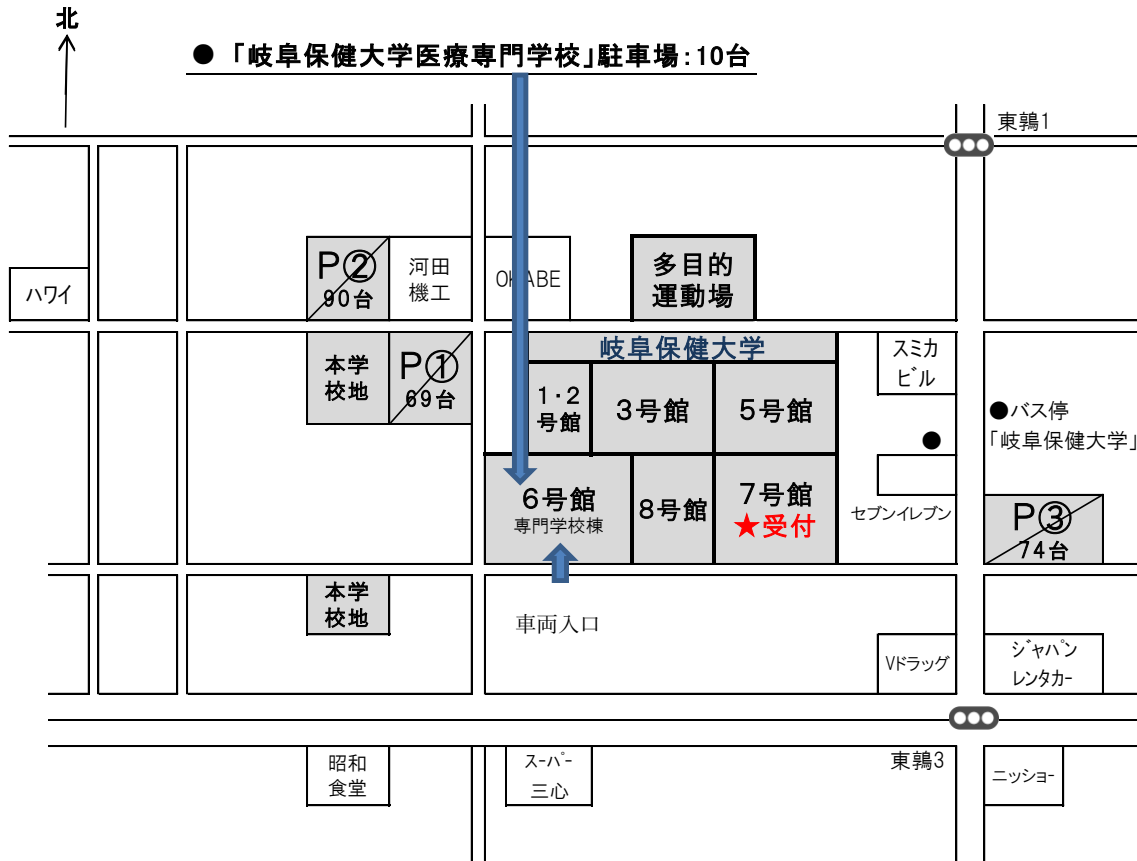
TEL 058-274-5001 FAX 058-274-5260

E-mail koho@toyota.ac.jp URL <http://www.gifuhoken.ac.jp>

岐阜保健大学「入学試験」 駐車場のお知らせ

岐阜保健大学

入学試験に自家用車で来学される方は、下記の地図のうち「6号館岐阜保健大学医療専門学校」の駐車場をご利用ください(駐車台数10台)。当日はオープンにしてありますので、自由に入ることができます。



交通機関のご案内

① ・ JR岐阜駅から岐阜バスで来学

エスカレータまたは階段で1階に降り長良口を出る。

岐阜バスターミナル④番のりばより「E13 東鶉行き」に乗車する。

約18分乗車。終点のひとつ前の「岐阜保健大学」下車。徒歩1分。

・ JR岐阜駅からタクシーで来学

エスカレータまたは階段で1階中央南口に降りタクシーのりばより乗車。乗車時間約10分。

② ・ 名鉄岐阜駅から岐阜バスで来学

名鉄岐阜駅下車。エスカレータまたは階段で1階に降りる。

岐阜バス②番のりばより「E13 東鶉行き」に乗車する。

約20分乗車。終点のひとつ前の「岐阜保健大学」下車。徒歩1分。

・ 名鉄岐阜駅からタクシーで来学

エスカレータまたは階段で1階に降りタクシーのりばより乗車。乗車時間約10分。

別表 指導教員の専門領域と連絡先

大学院の受験を希望される方は、教育研究領域と指導教員を指定してください。下記に示す教員が特別研究、課題研究を担当する指導教員です。出願前に、教員のメールアドレスまたは入試・広報部（TEL058-2574-5001）に連絡して、入学後の研究・教育（履修内容等）について事前に相談してください。

■ 看護学研究コース（広域看護学分野）

指導教員	教育研究領域・研究テーマ
<p>畑 吉節未 (Kiyomi Hata)</p> <p>副研究科長・教授 学位：博士（保健学） 災害看護学 e-mail:k-hata@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「災害看護学領域」</p> <p>研究テーマ： 1) 災害看護実践行動（病院／在宅）の分析と理論構築 2) 災害時のリスクマネジメントモデルと社会システムの構築 3) 災害看護学習プログラムの開発と評価方法の開発</p> <p>研究方法：質的研究による行動分析や概念分析などによる理論構築など</p>
<p>白井 キミカ (kimika Usui)</p> <p>研究科長・教授 学位：修士（社会福祉学） 老年看護学・認知症看護学 e-mail:k-usui@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「老年看護学領域」</p> <p>研究テーマ： 1) 重度認知症高齢者の日常生活支援技術・研修プログラム開発 2) 軽度認知症高齢者の支援活動評価 3) 養護者による高齢者虐待の要因・課題分析 4) 施設など的高齢者虐待防止介入研究</p> <p>研究方法：量的研究による要因分析や準実験（介入）研究方法など</p>
<p>茅喜田 恵子 (Keiko Takita)</p> <p>教授 学位：修士（社会福祉学） 精神看護学 e-mail:k-takita@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「精神看護学領域」</p> <p>研究テーマ： 1) 精神障害をもつ当事者および家族の支援 2) 看護者のメンタルヘルス 3) 看護におけるグループアプローチ 4) 精神看護学の教育研究</p> <p>研究方法：質的研究</p>

■ 看護学研究コース（実践看護学分野）

<p>野田 みや子 (Miyako Noda) 教授 学位：修士（学術） 助産学・小児看護学 e-mail:m-noda@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「小児看護学領域」 研究テーマ： 1) 妊産婦のストレスコーピングに関する研究 2) 医療職の職務ストレスとそのサポート体制 3) 福島原発から学ぶ災害への助産師として役割 4) 小児の虐待に関する研究 研究方法：質的・量的研究</p>
<p>平岡 翠 (Sui Hiraoka) 准教授 学位：修士（看護学） 小児看護学 e-mail:s-hiraoka@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「小児看護学領域」 研究テーマ： 1) NICUに入院した子どもを持つ母親への支援に関する研究 2) 看護管理者の人材育成に繋がる教育プログラムの開発 3) 看護師のレジリエンスに影響する因子の分析 研究方法：量的研究</p>
<p>山本 澄子 (Sumiko Yamamoto) 教授 学位：修士（学術） 看護教育学 e-mail:sumi-yamamoto@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「成人看護学領域」 研究テーマ： 1) 看護基礎教育の技術習得法に関する研究 2) 看護学生の自尊感情の変容と学習への影響に関する研究 3) 看護職と看護教育に関する研究 研究方法：質的・量的研究</p>
<p>三浦 昌子 (Masako Miura) 准教授 学位：修士（総合看護学） 成人看護学 愛知県看護協会会長 e-mail:koho@toyoyta.ac.jp（入試・広報部を通してください）</p>	<p>「成人看護学領域」 研究テーマ： 1) 看護職のキャリア構築に関する研究 2) 臨床と大学との連携からの効果をキャリアのあり方 3) 在宅高齢者夫婦世帯における行動変容をもたらす継続可能な転倒予防プログラムの開発 研究方法：質的・量的研究</p>
<p>永坂 和子 (Kazuko Nagasaka) 准教授 学位：修士（医療・福祉マネジメント） 成人看護学 e-mail:k-nagasaka@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「成人看護学領域」 研究テーマ 1) ケアミックス病院におけるマネジメントに関する研究，機能分化に対応した看護管理の構築 2) 地域在住要支援・要介護高齢者における排尿ケアのエビデンス構築に関する研究，病院・在宅間の排泄ケアに関する情報連携 研究方法：質的・量的研究</p>
<p>河田 美紀 (Miki Kawada) 学長・教授 学位：博士（医学） 専門医学 e-mail:koho@toyoyta.ac.jp（入試・広報部を通してください）</p>	<p>「専門領域」 研究テーマ： 1) 高齢者の呼吸器系の疾患と治療との関連 2) 予後からみた肺がん検診の意義に関わる基礎研究 研究方法：理論的及び実験的研究</p>

<p>永井 博弼 (Hiroichi Nagai) 顧問・教授 学位：博士 (薬学) 専門薬学 e-mail:h-nagai@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「専門領域」 研究テーマ： 1) アレルギー疾患の発症機序と予防・ケアに関する基礎的研究 2) アレルギー疾患治療薬の開発・適正使用に関する基礎的研究 3) 免疫学を基礎とした予防医学に関する研究 研究方法：質的・量的研究</p>
<p>森 裕志 (Hiroshi Mori) 教授 学位：博士 (薬学) 専門薬学 e-mail:h-mori@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「専門領域」 研究テーマ： 1) 母乳中の生体防御因子に関する研究 2) 量的・質的臨床研究における統計学的解析方法に関する研究 3) 妊産婦・授乳婦に対する薬物投与に関する研究 研究方法： 1) 実験的研究、2, 3) 文献的研究</p>
<p>小萱 康徳 (Yasutoku Kogaya) 教授 学位：博士 (歯学) 専門薬学 e-mail:y-kogaya@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「専門領域」 研究テーマ： 1) 看護の視点からみた人体構造機能学 2) フィジカルアセスメントに対する人体構造機能学の教育効果 3) 血中カルシウム濃度調節機構と脊椎動物の系統進化学的並びに個体発生学的研究 研究方法： 1) 質的・量的研究 2) 文献的、理論的及び実験的研究</p>
<p>西牟田 祐美子 (Yumiko Nishimuta) 教授 学位：Doctor of Philosophy in Sociology (英国) 心理学・英文学 e-mail:y-nishimuta@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「専門領域」 研究テーマ： 1) 看護の現場における社会心理的解決法の研究 2) ホスピス現場のスピリチュアルケアの実践的探索研究 3) ヨーロッパにおける近現代看護事業の要因・課題分野 研究方法：質的研究</p>

■保健師コース

<p>石井 英子 (Hideko Ishii)</p> <p>副学長・教授 学位：修士 (学術)</p> <p>公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:h-ishii@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「保健師コース」</p> <p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外国人の結核状況の分析 2) ダブルケアにおける保健師の役割 3) ALS を支えるケアシステム支援に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>栃本 千鶴 (Chizuru Tochimoto)</p> <p>教授 学位：博士 (学術)</p> <p>在宅看護学・公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:c-tochimoto@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「保健師コース」</p> <p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腸内フローラ医学研究と融合した看護の研究 2) 地域住民の自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援 3) 地域住民へのセルフコントロール介入研究 <p>研究方法：量的研究による要因分析・準実験による介入研究</p>
<p>船橋 香緒里 (Kaori Funahashi)</p> <p>教授 学位：修士 (看護学)</p> <p>公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:k-funahashi@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「保健師コース」</p> <p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健師教育における効果的教授法 2) 防災、減災を意図した保健師活動に関する研究 3) 世代間交流にあるコミュニティづくりの手法 <p>研究方法：質的・量的研究</p>

■助産師コース

<p>内藤 直子 (Naoko Naitoh)</p> <p>教授 学位：博士 (医学)</p> <p>助産学・母性看護学</p> <p>e-mail:n-naitoh@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「助産師コース」</p> <p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠期・分娩期・産褥期・育児期の母児に関する研究 2) 生涯発達看護の関連、不妊、育児支援などの尺度開発 3) 臨床看護学の関連や分娩期のリラクセス評価法の研究 4) 世界の助産歴史とお産文化の研究 <p>研究方法：質的・量的・混合法・準実験法</p>
<p>野田 みや子 (Miyako Noda)</p> <p>教授 学位：修士 (学術)</p> <p>助産学・小児看護学</p> <p>e-mail:m-noda@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>「助産師コース」</p> <p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊産婦のストレスコーピングに関する研究 2) 医療職の職務ストレスとそのサポート体制 3) 福島原発から学ぶ災害への助産師としての役割 4) 妊産褥婦の抑うつに関する研究 5) マタニティ・ヨーガと妊産褥婦の心身の健康との関連に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>

※ 学長及び令和3年4月着任予定の教員への連絡は、入試・広報部 (koho@toyota.ac.jp) を通して行います。